



編集・発行 日蓮宗 能勢妙見山 広報部 〒563-0132 大阪府豊能郡能勢町野間中 電話 072-739-0329 FAX 072-739-2883

小さな一歩

植田 観肇

三月になるとだんだん鼻がむずむずし、目がかゆくなってくる。草木が芽生え春の到来に心躍る反面、花粉で頭がぼーっとして何も手につかないのを思い出して憂鬱な気分になる。ドラッグストアやスーパーでも花粉対策グッズのスペースは年々広くなっているように、花粉対策は今や日本で一大市場を形成している。対策の基本はマスクだがマスクだけでも何百種類もある。最近では花粉対策だけでなく様々な付加価値がついており、つけると小顔に見えるマスクなどもはや何のための道具なのか分からなく

らなくなっているほどだ。春の花粉症の原因は主にスギといわれ、日本中どこでも山を見るとスギだらけだが、実はこれらはほとんど戦後に植えられたものだという。戦後の復興の資材のためにと国の政策で全国的に植えたこれらの木、元々は花粉が出るまでに生長した木は建材などに使われるはずだった。だが、資本主義と急速なグローバル化の発達と共に、安い外国の木が日本に輸入され、結果売れ残った木は放置され、それが今も大量の花粉をまき散らしながら現在にいたっている。この状況は本来植樹に適していない人里離れた山奥

にも広がっており、手入れされない人工林の森は真暗で他の草木も生えず、元来あった多様な生態系も崩れてきている。これは森の生き物にとっても花粉に苦しむ私たちにとっても憂うべき事態だ。一番良いのはスギを徐々に本来あるべき木に植え替える事だが、巨大なグローバリズムの前で国の対策も思うように成果は出していないようだ。

少し大きだが、もし今の世に日蓮聖人がいらしたなら、皆が幸せになれる道を国や世界に提案し実行されたかもしれない。とはいえ、私にはそこまでの力はないので、まずは身近な境内の森を守るために目下勉強中だ。大切なことは、皆が幸せになるにはどうすれば良いか、小さくても一歩を踏み出すことではないか。

《法華經に学ぶ現代》

〜純智庵〜

汝(なんじ)

今諦(いまあきら)かに

聴(き)き

善(よ)く

之(の)を

思念(しんねん)せよ

『方便品第二』

学(まな)び舎(や)を巢(すだ)立つ諸君(しよきん)に言(い)っておく 今日(けふ)からそれぞれ君(きみ)たちは一人(ひとり)ひとりの道(みち)を行(い)く 山(やま)あり谷(や)ある人生(じんせい)は人(ひと)との出(い)会いが道標(みちしるべ) まずは謙虚(けんきょ)に耳傾(みみかたむ)けて如何(いか)なる道(みち)かを聴(き)くがよい としてよくよく考(かん)えて 踏み出(か)せ新たな第一歩(だいいっぽ) それが諸君(しよきん)を活(い)かす道(みち)

【3月の主な行事】

- ☆報恩大祈禱会 5日(日)10時半 荒行僧出仕。水行、特別加持祈禱を行います
★写経会 12日(日)11時
★月例祈願法要 15日(水)13時
★星嶺演奏会 19日(日)11時
★星嶺茶論 19日(日)13時
★鷗様月例祭 22日(水)15時

【4月の行事予定】

- ☆開運祭 20日(木)終日
※寺務所窓口にて開運守授与
☆星嶺祭 29日(祝)
11時30分 星の子パレード
11時45分 子供祈願大法要
※法要後は人形劇や太鼓演奏、ポニーに乗れるアトラクションや子供福引大会など。
星嶺祭参加者募集!
☆星の子(祈禱料三〇〇〇円)
参加希望者は11時に集合
★写経会 9日(日)11時
★月例祈願法要 15日(土)13時
★星嶺演奏会 16日(日)11時
★星嶺茶論 16日(日)13時
★鷗様月例祭 22日(土)15時
※火伏守札を授与

《交通のご案内》

◆ケープル&リフト 冬季期間は運休。3月5日は特別運行。3月18日(土)から毎日運行します。

文字の力

服部 憲厚

本誌は、五十年以上に渡り多くの人に愛読されてきた歴史ある寺報である。私のような若輩が、原稿を書かせて頂けることは今更ながらありがたいと思う。

にもかかわらず、いつもいよいよ締切間際、焦って筆を走らせ後悔する。本稿も懲りず締切間際の為、急ぎ足で本題に移る。

私がよく行く銭湯の浴場壁面には、このような文字が大きく掲示されている。「健康とは他人から与えられるものではなく、自分自身の努力によって作られるものである。」その隣には「西式温冷浴」なる健康入浴法の指南が続く。その真偽のほどはわからぬが、要約すれば、水と湯に交互回数浴することで、絶大な健康効果が得られるというのである。

さて、本題はこの健康入浴法の推奨ではない。その一見どうってことないような、掲示された文字の恐るべき力の話である。

湯船から顔を出し、その一部始終をお伝えしよう。ある翁はこの掲示の前で数秒立ち止まり、唸り声と同時に水風呂に浴した。指南書を眺めるイケメンも涼しい顔で水と湯の出入りを繰り返す。あの掲示の前に立つものは皆、神の啓示を得たかのごとく敬虔な温冷浴信徒となったのである。

私は文字の力について、考えを新にさせられた。その影響力たるや、締切間際の急ぎ足などもつての外で、一度文字となれば責任は重大である。

文字には、時間空間を超えて万人の心を動かし、行動させる力があるからだ。「一々文々是真佛」として数千年もの間人々を照らしてきた經典がそれを示す。

3月と言えばホワイデー。近年、2月のバレンタインデーとセットですっかり定着しましたが、チョコをもらうのは嬉しくても、お返しを考えるのは悩みの種でもあります。価格もさることながら、その人の好みや年齢、家族構成など考え出すと、ちよつとした

☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

お返しでもなかなか決まりません。日蓮聖人は、バレンタインではありませんが、ご信者様から御供養の品を頂いた時は、それぞれの相手に寄りそった内容で丁寧にお手紙を書かれました。形はどうあれ、相手を思う気持ちが大切ですね。U.K

その力ゆえ、お釈迦様は妙法蓮華経の五字に万法を収め、日蓮聖人は、お題目の七字に生涯をかけられたのである。末弟として一字を厳選し、一字をもこぼさずにいたいと思う。最後に貴重な文字数をお借りし、今年度をもって九年間お世話になった能勢妙見山、真如寺を去る者として、仏祖三宝諸天、恩ある皆様に御礼申し上げます。南無妙法蓮華経。

俳壇 （みのり）

童話読む声のやさしき春炬燵
折雛の鼻すじ高く揃えられ
行滝の岩間にひそと露の臺
嵐山の稜線淡く春時雨
登校児見送る門に沈丁花

暦のあれこれ

六曜（二）
現在の暦で吉凶判断の主役とも言つてよいのが六曜です。読み方に基準はありませんが、ここでは一般的な読み方と意味を紹介したいと思います。先勝「せんかち」とよく読まれ、急ぐ事は吉ありとされています。積極的行動が運を呼ぶとのことです。友引「ともびき」と読まれ友を引く事から凶事に忌まわれており、現在でも多くの葬祭場、火葬場の休日となっています。古くはこの日に悪い方向で事をなすと、友人にも災いがおよぶとされ、この事から現在の意味につながったようです。仏滅「ぶつめつ」と読み、凶日とされます。元々は全てがむなししいという意味で「物滅」と記されていたものが音が転じて仏滅となりました。決して仏様の命日というわけではありません。